

障がい者向けインターンシップ・プログラム

# Access **Blue** Program 2024

障がいのある方を対象に、6ヶ月間のインターンシップ・プログラムを通じて「働く」ということを学びながら、ITスキルや社会人基礎力を習得できます。

2024年1月10日

日本アイ・ビー・エム株式会社 Access **Blue** Program

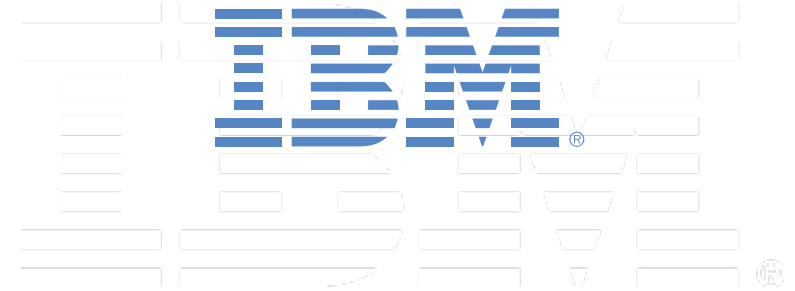


# IBMとは

IBMは、テクノロジーを活用して社会や企業の課題を解決している会社です。イノベーション、ダイバーシティ、プロフェッショナルの3つを大切にしています。ダイバーシティの一環として、障がい者の活躍支援に積極的に取り組んでいます。

IBMコーポレーション  
創業 1911

日本IBM  
創業 1937



主な事業分野  
情報システムに関わる製品・サービスの提供

オペレーション  
175ヶ国以上に事業拠点

従業員  
20万人以上

イノベーション

ダイバーシティ

プロフェッショナル

\* 日本IBMの障がい者の活躍を支援する取り組み  
<https://ibm.biz/japan-pwda>



# Access Blue Program 2024

障がいのある方を対象に、6ヶ月間のインターンシップ・プログラムを通じて働きながら、ビジネス・ITスキルの基礎を身につけていただく有償のプログラムです。

## 特徴

- IBMが求める人物像を理解しながら、**就職活動の準備**ができます。
- **基本的なITスキルを習得**できます。
- **社会人基礎力を向上**させて、社会人として働く準備ができます。
- リモート勤務やシフト勤務を活用して、**学業や就職活動との両立**が可能です。



## ビジネス・カリキュラムの例

コミュニケーション、コラボレーション、リーダーシップ・スキル  
課題分析、ソリューション構築の方法論の演習  
提案活動を通じたお客様価値創造の体験  
実際の業務部門における就業体験(OJT)

## ITカリキュラムの例

プログラミングの基礎  
クラウドやAIに関する知識  
チームでのアプリ設計・開発体験  
最前線で活躍する技術者による講義

## 問合せ先

日本アイ・ビー・エム株式会社 Access Blue Program事務局

[ACCESS@jp.ibm.com](mailto:ACCESS@jp.ibm.com)

# 募集要項

募集期間: 2023年11月30日(木)～**2024年1月22日(月)午前9時\*** (必着)です。\*2024年1月10日(水)に更新しました。

実施期間	2024年3月15日(金)～9月30日(月)
形式	原則オンライン開催 ※カリキュラムにより、出社可能な方には出社いただく場合があります。本社: 東京都中央区日本橋箱崎町19-21*
応募条件	以下の条件を満たす、将来日本IBMグループへの就職を検討している方 – 障がい者手帳をお持ちの方、もしくは申請中の方 – 原則、介助者なしでプログラムへの参加が可能な方(情報保障は弊社で用意します) – PCの基本操作スキル (Word, Excel, PowerPoint) をお持ちの方
募集人数	40名
待遇・福利厚生	勤務日時: 月～金 10:00～17:00 (12:00～13:00 休憩) 日給目安: 6,720円 ※ 交通が発生する場合は、別途実費をお支払いします。 保険: 弊社臨時雇用契約に基づき、社会保険に加入



# 説明会、応募、および選考の流れ

## 1

### 説明会

是非ともご参加ください

開催日時：  
2023年12月20日(水) 15:00-16:30  
(オンライン開催)

内容:

1. Access Blueの説明
2. 応募方法
3. 過去のAccess Blue参加者の体験談
4. 質疑応答、等。

参加申し込み:

1. [マイページ](#)に登録
2. 説明会を申し込んでください。



\* 参加できない方向けに後日動画を公開します。

## 2

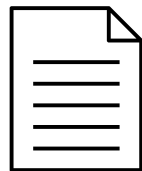
### 応募方法

必要な書類を確認してください

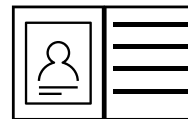
1. [マイページ](#)よりエントリー・シートを記入
2. [マイページ](#)に障害者手帳のコピーを添付

締切り: **2024年1月23日(月) 9時 必着**

\* 2024年1月10日(水)に更新しました。



エントリー・シート



障がい者手帳のコピー

## 3

### 選考の流れ

以下の3ステップで選考します

1. 書類審査
2. 面接(オンライン)
3. 結果通知



# Access Blue についてのよくある質問

## 働き方

1. 学業との両立はできますか。  
– はい。学業により日中の参加が不可能な日は、フレックス勤務を活用して、カリキュラムの録画を視聴することができます。
2. 毎日、何時間参加する必要がありますか。  
– 平日6時間を想定していますが、フレックス勤務により調整可能です。
3. 原則オンライン開催とのことですが出社はありますか。  
– カリキュラムにより、出社が可能な方は出社いただく場合があります。
4. 平日に通院する必要ありますが休暇は取得できますか。  
– 取得できます。体調管理を優先してください。
5. 就労をしながら参加することができますか。  
– 兼業はできません。Access Blueと学業に専念してください。

## コンテンツ

1. 何が習得できますか。  
– 基本的なビジネスおよびITスキルを習得できます。
2. ITスキルがありませんが、参加可能ですか。  
– PCの基本操作スキルがあれば、参加可能です。
3. IBM社員と接することができますか。  
– 第一線で活躍する社員から役員まで接することができます。

## 環境

1. どのような障がいがある人が多いですか。  
– さまざまな障がいをお持ちの方が参加していますが、多いのは精神・発達障がいの方です。
2. 障害者手帳は現在取得中ですが、参加できますか。  
– 医師の診断書コピーで代替できます。手帳取得次第、コピーを提供ください。
3. そのような情報保障が提供されますか。  
– カリキュラムでは音声認識ソフトウェアを使用し、また画面読み上げソフトウェアを貸与します。
4. PCは貸与されますか。  
– 貸与します。基本Macで、読み上げソフトウェアが必要な方はWindowsとなります。
5. 就労移行支援期間は引き続き利用してよいですか。  
– ぜひ利用ください。

## 福利厚生

1. 健康保険加入は必須ですか。  
– 必ず加入いただきます。
2. 出社時には交通費は支給されますか。  
– 支給します。

# 就労準備を目的とした包括的なアプローチ

6ヶ月間で、「働くこと」に必要な三要素におけるスキルの向上を目指します。

「働くこと」に必要な要素

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<p>企業や職業に対する理解 社会に対する理解</p> <p>会社のしくみ、就労者の責任・義務、 お客様の課題、社会・経済の仕組み等</p>	学習		仮想プロジェクト体験			就労体験	
<p>スキル（知識・技術） コンピテンシー（行動様式）</p> <p>業務遂行に必要な能力 お客様・社会にとっての価値習得</p>	講義やワークショップ、 自習等を通して、基礎的 な知識を身に付けます		チームでお客様を想定した提案活動に取り組み、 ロールプレイ等を通じて学習した内容を実践、結果 から再び学びます			OJTで総合的な学習した 内容を発揮します	
<p>自己に対する理解 他者に対する理解</p> <p>自己分析、自己管理 相互理解、互いの個性を尊重した協働</p>	振り返り&フィードバック 振り返りやチームメンバーからのフィードバック、ACBスタッフや所属長との面談等を通して、自己の 理解と他者への洞察を深める						
目標スキルレベル	0 → 1		1 → 1+			1+ → 2	


スキルレベル		定義
0	Non-Awareness (知らない)	重要性や本質を認識していない、学習したことがない。
1	Acquired (習得した)	基礎的な知識・技能を学び、理解している。
1+	Starter (初心者)	意識して日常の中で少しずつ実践を試みている。
2	Novice (初級)	助言や支援を受けながら実践できる、ある程度はできるようになってきている。


# あるインターンの1週間の例

全員で同じカリキュラムを進める時間と、個人作業の時間があります。

コアタイム: 10:00-17:00、12:00-13:00は休憩

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:00					
10:00					
11:00	朝礼	大学授業参加 (午前カリキュラム不参加)	朝礼	朝礼	朝礼
12:00	カリキュラム (ビジネス基礎1)		チーム活動発表	カリキュラム (IT基礎)	個人作業 (プログラミング実習)
13:00	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
14:00	カリキュラム (ビジネス基礎2)	カリキュラム (ビジネス基礎3)	個人作業 (プログラミング自習) 休憩	カリキュラム (プログラミング基礎) 休憩	カリキュラム (ビジネスリーダーとの ラウンドテーブル) 休憩
15:00	チームワーク	チームワーク (発表準備)	個人作業 (復習)	個人作業 (プログラミング実習)	個人作業 (1週間のまとめ)
16:00	ラップアップ 終業	ラップアップ	ラップアップ 終業	ラップアップ 終業	ラップアップ 終業
17:00		フレックス勤務* (午前カリキュラムビ デオ視聴 - フレックス 勤務適用)			
18:00					
19:00					

 : カリキュラム  
参加者全員で同  
じ業務を実施(朝  
礼、カリキュラ  
ム、チームワー  
ク、ラップアッ  
プ等)

 : 個人作業  
参加者一人ひと  
りが異なる業務  
を実施  
(実習、復習、レ  
ポート等)

\* フレックス勤務:  
授業等で業務参加で  
きない場合に、コア  
タイム以外でキャッ  
チアップ



# 参加者の声

Access Blueはあなたにとって、どんなプログラムでしたか？

- ☰ 人生を変えるインターンシップ  
(人間総合科学研究科。体幹機能障がい)
- ☰ 参加前と参加後では、見える世界が変わることをお伝えしたい  
(法学部。聴覚障がい)
- ☰ ひと言で表すと、「なんでもチャレンジできる実験場」でした  
障がい特性に対し、働けるやり方(自分なりの工夫の仕方、  
必要な配慮とその説明の仕方など)を探る実験の場としての  
意味合いが強かったです  
(文学部。発達障がい)
- ☰ 最先端のIT知識と、高度な就業経験を積める、  
最高のインターンシップ  
(工学部。四肢障がい)
- ☰ 失敗を許された環境でできる、実践的な訓練の場で、  
新人研修と遜色ない内容を長い期間をかけて学びながらできるという  
ことに意義を感じました  
(教養学部。発達障がい)
- ☰ 多様な障がい、経験の異なる人たちの交流ができ、働き方、  
および自己を見つめ直す貴重な機会  
(工学部。発達障がい)
- ☰ 「社会人への滑走路」でした。大学等のアルバイトと決定的に  
違った点としては、フルタイムに近い時間で働くと何が起るか、  
というシミュレーションとして、様々なことをやってみることができた  
(文学部。四肢障がい)
- ☰ 本当に「人生のリスタート」と言って過言ではないほどの機会だった  
(政治経済学部。発達障がい)
- ☰ 7ヶ月間が人生で一番短く感じました  
毎日パソコンに向かうのが楽しみでした  
(学芸学部。精神障がい)
- ☰ コロナ禍での働き方を間近で体験できたことは  
自分にとって大きな財産です  
(法学部。視覚障がい)
- ☰ 参加しない理由がないように感じます。大変なことや辛いこと、  
失敗してしまうこともたくさんありましたが、その中で得られるものは  
リアルな就業体験だからこそだと感じております  
(経済学部。視覚障がい)

# 障がいのある学生の皆さんへ

“外資系IT企業のインターンシップ”と聞くと、「理系の学生もしくはITの基礎知識がある人向けのプログラム？」と思われるかもしれませんが、実は、これまでのAccess Blueの参加者の半数以上は文系の学生もしくは出身者です。また、IBMグループ社員も文系出身の社員が多くいます。ITスペシャリストやデータサイエンティストだけでなく、コンサルタント、営業、デザイナー、購買、人事などの多様な職種で活躍しています。

**職種だけでなく**、IBMでは100年以上も前の創業当初からダイバーシティー&インクルージョンを大切にしています。職種だけでなく、女性社員、介護中の社員、障がいのある社員、LGBTQ+社員など様々なバックグラウンドのある社員が活躍しています。Access Blueの修了生の多くも、インターンシップでの経験を活かし、日本IBMグループを含むIT企業に就職しています。

こういう方におすすめします。

- 自らの強みや弱み、障がい特性を理解し、自分のキャリア志向や適性を見つけ出したい
- 新しい知識や経験を得ることでキャリアの選択肢を広げたい
- すでにプログラミング経験といった一定のITスキルはあるが、就労自体を経験したい
- 社会人基礎力やコミュニケーション能力を向上させたい
- チームワーク経験を積みたい

**Access Blue**は、就労準備を目的とした包括的なアプローチをとります。様々な業界や職種で活躍するIBMグループ社員と直接交流する機会やOJT(On the Job Training)を提供する点は大変ユニークと言えます。

これまでの知識や経験にとらわれず、一步を踏み出してみませんか？就職活動の前に、ご自身の大切なキャリアと向き合う機会として、Access Blueを活用してください。あなたの応募をお待ちしております。

# 参考

「IBMが進めるダイバーシティ&インクルージョン」要約版

<https://ibm.biz/BdSuGJ>



